



青南だより

令和2年6月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜日本中の頑張りと忍耐力の成果＞

緊急事態宣言が解除され、ようやく長いトンネルを抜けることができました。まずは、子どもたちを迎えて、始業式や入園式ができ、令和2年度が始められることに感謝したいと思います。医療関係者をはじめ、日本中の人々による献身的な努力と忍耐によって、多くの制限がある中でも社会機能が維持できたからこそ、この日を迎えることができたのだと思います。子どもたちも、保護者の皆さんも、長い自粛生活をよく耐えてくださったと思います。本当にお疲れ様でした。

＜安全を第一に考えた園生活を＞

今までと同じようにはできないことが多くありますが、区のガイドラインに沿って、安全を第一に園生活を送れるようにしていきます。詳しくは、青南だより本文や学年だよりなどをよくお読みいただきたいと思います。保護者会や学級懇談会を開くこともできず、双方向のやり取りが十分にできないかもしれません。それでも、一部の行事については、PTAの皆さんとも知恵を出し合って、子どもたちの笑顔のために、少しでもできることを考えていけたらと思っています。

＜前向きな構えを育てたい＞

私はいつも、幼児期に育てたいのは「構え」です、と話しています。今回のような状況に対しては、特に目の前の出来事をマイナスに捉え始めたらキリがありません。立場は違って、困難な状況にあることに変わりありません。どんな場面でも見方を変えることで、プラスに転換できることがあるはず。この3か月、各家庭でも工夫して頑張ってくださっていたことと思います。これからは、幼稚園と家庭とで焦らずじっくりと進めていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

・・・水無月（みなづき）・・・

芒種（5日）…紫陽花が色付き始めます…

夏至（21日）…水遊びが気持ちいい季節です…

少し前からアジサイが色付き始めました。2年前までの主任の先生がプランターに挿し木をしてくれたものが、根付いて大きく育ってきたものです。アジサイに合った適切なやり方を丁寧にすれば、こんなに立派に育つことが分かり、植物の生命力にも感心しながら花の様子を楽しみに眺めています。他にも、ユスラウメ、グミなどの初夏の実が成っており、青南の豊かな自然に改めて感謝しています。

青南の 二十四節気



新しい仲間をみんなが待っていました！



目印をつけて間隔を開けられるように



進級して、これからはお兄さんお姉さん



砂場の掘り起こしも先生たちの大事な仕事



挿し木から育ったアジサイが咲き始めました